

平成 22 年度 第 1 回新潟大学社会連携フォーラム「足元からの社会連携」を開催

新潟大学では、11月27日（土）、「足元からの社会連携～地域とキャンパスではじめる、ちょっと新しいまちづくり～」をテーマとした社会連携フォーラムを開催しました。このフォーラムは、本学の学生・教職員と地域住民が社会貢献活動の成果を発表し、地域との連携について、一緒に考えることを目的に毎年開催しています。この社会連携フォーラムも、今回で6年目を迎え、これまでの大学キャンパスと大学南が丘自治会等の五十嵐地区の活動から内野地区へと踏み出しました。そしてこの輪は、坂井輪、沼垂と市内全域に広がりつつあります。

今回のフォーラムには、地域住民の方々・学生・教職員等合わせて約130名が参加し、地域と連携して活動する13の団体から、ごみ問題、環境問題から、多世代間交流、農業、福祉、防災、若者支援等多岐にわたる活動報告がありました。

一方で、足元の大学南が丘自治会との連携も防災パトロール、盆踊り、炊き出し訓練、家庭菜園等を学生と共同で行うなど活性化してきています。

その後の意見交換会「なんでもトーク」では、「民間市民農園を通したまちづくり」をテーマに「土」を通した学生と住民との交流、多世代間交流の可能性について活発に意見交換が行われ、参加者からも多くの建設的な意見が寄せられました。なんでもトークの後、新潟清心女子中学・高等学校ハンドベル部による演奏が行われ、多くの参加者から心が洗われるような思いだったとの感想があった。

また、フォーラム終了後の交流会では、和太鼓、佐渡おけさ、フォルクローレ、総おどり等のアトラクションが披露され、参加者は楽しみながら交流を深めました。



防災訓練



パネル



なんでもトーク

本学では、このフォーラムを通じて地域住民の方々などから得られた貴重な意見を、今後も地域との連携に活用していきます。



清心女子学園ハンドベル演奏



交流会